

令和3年度「ふくおか地域づくり活動賞」 応募用紙

地域づくりネットワーク福岡県協議会長 殿

応募団体名 ○○まちづくり協議会

代表者名 福岡 太郎

| | | | | |
|------|---|---|------|-----|
| 団体概要 | フリガナ | ○○マチヅクリキョウギカイ | | |
| | 団体名 | ○○まちづくり協議会 | | |
| | 所在地 | 〒800-0000 福岡県■■市○○町 | | |
| | 設立年月 | 平成6年4月 | 活動期間 | 26年 |
| | 設立経緯 | 設立に至った経緯について、御記入ください。 平成6年、○○校区において、住みよい地域づくりと地域住民の交流を目的として、「○○まちづくり協議会」を設立。 | | |
| | 会員数 | 50人 | | |
| | 主な活動地域 | 福岡県■■市○○校区周辺 | | |
| 応募部門 | <p>応募する部門に☑を入れてください。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 地域コミュニティ部門 (自治会、まちづくり協議会等が、地域の課題解決のために取り組むイベントの実施、 景観づくり、青少年育成、高齢者支援、防犯・防災などの活動。)</p> <p><input type="checkbox"/> 行政との協働部門 (地域づくりの課題として行政が設定するテーマに対して、地域づくり団体が専門のノウハウを活用して行政と委託、補助金等の方法で協働して取り組む活動(行政が参加する実行委員会の活動を含む)。</p> <p><input type="checkbox"/> 特定テーマ部門 (自然保護、文化財の保全、伝統芸能の継承、福祉の充実など特定のテーマを通じて地域づくり活動に取り組む団体が主体的に企画・運営を実施する活動(企業や他の団体、実行委員会と連携して行う活動を含む)。</p> <p><input type="checkbox"/> U30部門 (構成員の過半数が30歳未満の若者である団体。 特に「先駆性・独創性」が顕著であり、「発展性」が期待できる活動。)</p> | | | |

| 団体の活動について | |
|--|---|
| <p>先駆性・独創性</p> <p>(どのようなテーマ・視点で活動に取り組んでいるか)</p> | <p>〇〇校区に伝わる伝統芸能「△△」の練習を定期的に行うことで、地域住民の交流の場を作っている。現在では、「△△」で知り合った地域住民が中心となり、「△△」の周知を目的とした「△△」体験教室の開催、地元食材を使った特産品開発等、独自の企画を行っている。</p> |
| <p>地域課題の解決への寄与</p> <p>(地域が抱える問題に対応している点)</p> | <p>〇〇校区では、少子高齢化が進み、就学や就職を機に若年層が都市部へ移り住む傾向にある。現在、取り組みを行っている「△△」で、地元への愛着を深め、〇〇校区へのUターンを図っている。</p> |
| <p>継続性・持続可能性</p> <p>(活動内容、頻度や実績、今後継続して取り組む点)</p> | <p>平成6年 〇〇まちづくり協議会を設立。</p> <p>平成8年 〇〇小学校で伝統芸能「△△」の練習を開始。(月2回)</p> <p>平成10年 伝統芸能「△△」のコンサートを開始。</p> <p>平成12年 「△△」体験教室を開始。(2か月に1回)</p> <p>平成14年 〇〇産の 野菜を使った特産品の開発を開始。 月2回開催している</p> <p>伝統芸能「△△」の練習 は継続して実施していく。また、地元企業の協賛によるコンサートは地域のイベントとして定着しており、引き続き実施していく。</p> |
| <p>地域連携・協働性</p> <p>(地域住民や地元団体、企業等とどのように連携しているか、又は行政等とどのように協働しているか)</p> | <p>〇〇校区の小学生、その親はもちろん、〇〇小学校の卒業生がボランティアとして多く参加し、活動を支えている。また、コンサート等のイベントを行う際は、地元企業▲▲の協賛、地元NPO団体による広報といった支援を受けている。</p> |

